

【トラック06】

あやめ「あ、兄貴ちょっといい？」

あやめ「これ、兄貴の部屋から見つけたんだけど…このエロ本」

かな「漫画探してたらまたま発見してさあ、先生のエロへの探究心は果てしないね」

かな「うんうん、感心感心」

あやめ「常に上から目線、メスガキに体臭をバカにされながらの全身舐め…」

あやめ「すぐ見つかる場所にあるってことは、私たちにやってほしいってこと？」

かな「にひひっ、先生、これは言い逃れできないぞ～」

かな「まあ、見つけなくても先生ならこういうの好きって分かってたけど」

あやめ「これ、私たちくらいの女の子が全身を舐めまわして…」

あやめ「きっとないチンカスを食べさせて、耳元で馬鹿にされる内容だけ…」

あやめ「兄貴はそういうのがいいの？汚いところを見せてバカにされたいの？」

あやめ「はあ…気持ち悪、本当に歪んだ最低な性癖だね」

かな「あやめっち、今日先生で遊ぶテーマは決まったね～♡」

あやめ「うん、そうだね。キモいけど、これも兄貴を徹底的に分からせるためだし…」

かな「それじゃあ先生…もう分かってると思うけど全部服脱いで横になってね」

かな「え？恥ずかしいから嫌だ？」

かな「先生はまったくもう～、素直じゃないんだから～」

かな「どうせ先生は無理やりが好きな変態さんだもんね～」

あやめ「ほら、私たちの舌見て…涎でいやらしく光ってる…」

かな「はい♡これ好きなんだもんね、メスガキの、し・た♡」

あやめ「この舌でえ…んちゅ…れろ、こんなふうに舐め回したらあ…ちゅる…」

かな「んちゅ…とーても、はあ…れろ、気持ちいいと思うよお？♡ちゅる…」

あやめ「お兄ちゃんのきったない全身、んちゅ…ちゅるる…舐めさせてえ♡」
かな「にいにの耳も口も脇も、んちゅ…じゅる…チンポもお…ペロペロさせてえ♡」

あやめ「どう？ 舐められたい？ 舐められたいよね？♡」
かな「バカにされながらあ、お口マンコにぴゅっぴゅしたいでしょ？♡」

かな「ふっ、くすす、首を縦に降っちゃって…素直すぎ♡」
かな「さつさと脱げ♡このマゾ♡」
あやめ「雑魚のくせに…私を待たせないでね、お兄ちゃん♡」

かな「にひひっ、どマゾの全裸、サイッテー♡」
あやめ「ふっ、ほんと気持ち悪い♡」
あやめ「それじゃあお兄ちゃん、そこ座ってね～」

かな「逆レイプ準備万端のマゾの全身、舐めてあげる♡」
あやめ「変態マゾのきったなあい体、私たちがこの舌で犯してあげる♡」

かな「はあ…んちゅ…先ずは挨拶代わりに…はむっ…んちゅる…この耳から…♡」
あやめ「ちゅぱ…お兄ちゃん、好きだもんねえ…ちゅう…ちゅる…」
あやめ「お耳の中…はあ…ちゅう…じゅる…とろとろにレイプされるの♡」

かな「ちゅぱ…にいにの耳…んつ♡まっず♡ちゅう…サイッテーの味♡」
あやめ「ほんとお…ちゅう…入口から奥まで…んちゅ…まずくて最悪の味い♡」

かな「ほらあ…ちゅぱ…奥までねじ込んであげるからあ…ちゅるる…」
かな「にいにの…ちゅぱ…きったない耳かす、ちょーだい♡」

あやめ「んちゅう…私も奥まで舌で犯すからあ…んちゅ…ちゅる…」
あやめ「お兄ちゃんの…じゅる…きったない耳かす、ちょーだい♡」

かな「ねえ…変態にいに…耳かすちょーだい♡耳かす食べさせて♡耳かすう、ちょーだい？♡」
あやめ「ねえ…変態にいに…耳かすちょーだい♡耳かす食べさせて♡耳かすう、ちょーだい？♡」

かな「ちゅ…じゅる…じゅるるる…れろ…じゅるるるる、じゅぱ♡」
あやめ「ちゅ…じゅる…じゅるるる…れろ…じゅるるるる、じゅぱ♡」

かな「くすっ♡ちゅぱ…変態♡はあ…じゅるる…ちゅぱ…じゅるるる♡ちゅぱつ♡」
あやめ「あはっ♡ちゅぱ…ざあこ♡はあ…じゅるる…ちゅぱ…じゅるるる♡ちゅぱつ♡」

かな「にひひ～、ごちそうさま♡予想通りのサイツテーな味だったよ、にいに♡」
あやめ「まずくて臭くて最悪な味♡」

あやめ「それじゃあ、今度はどこを舐めようかなあ♡」

かな「ん～？にいにお口が寂しそうだね♡」

かな「にいにがお望みの…キス、しながらあ、そのお顔も舐めてあげる♡」

あやめ「それエロ～い、お兄ちゃんのお顔、JCの唾液でべちょべちょになっちゃうね」
あやめ「ほらお兄ちゃん？こっち見て？」

あやめ「んっれろお、この舌でえ、きっとないお顔、舐めてあげる～♡」

あやめ「ん…ちゅ…ちゅぱ…軽くキスしてえ…お顔を、れろ、べろべろ…ちゅつ、ちゅぱつ」

あやめ「あはっ…しょっぱくてえ、キ・モ・い・あ・じ♡」

あやめ「んっちゅ…れろ…べろべろ…はあっ…ちゅ…じゅる…」

かな「あーずるーい、私もー、ほらにいに、私のことも見て？♡」

かな「んーちゅ、ちゅぱ…じゅるる…あはっ、ほんとだ…ちょっとしょっぱい…れろれろ…」

かな「にいにのお口も犯してあげる♡」

かな「んっ…じゅる…ちゅぱ…じゅるる…どお？JCとのナマ唾液交換♡…ん…じゅるる」

あやめ「れろ…ちゅ…んふ、ディープキスえっろ～♡」

あやめ「舌と舌でセックスしてるみたい♡」

あやめ「もちろんお兄ちゃんが犯されてる側だけど♡んちゅう…れろ、じゅる…」

かな「んつじゅるる...はあ...ふふつ、にいに顔中どろどろ...んじゅるる...ちゅぱ...ぷはつ」

あやめ「今度はあ、私もナマ唾液交換、しちゃおつかな」

あやめ「その前に、お兄ちゃん口開けて...そう、見えるように...あはっ、こつけい～♡」

かな「ほんとマゾ犬らしくて恥ずかしいお顔、サイッテー」

あやめ「先に私の唾液飲ませてあげる...口の中で咀嚼してよく味わってね♡」

あやめ「お口で...んつ、くちゅ...唾液をためて...ん、こんなもんかな...」

あやめ「お兄ちゃん、いくよお？お口、あけて？...ん、んべえ...ちゅる...ペつ...」

かな「やーん、JCに唾液垂らしてもらって嬉しいね、にいに♡」

かな「ほら、よく味わってごくんしようね～♡」

あやめ「あははっ、本当に味わってるし、気持ち悪すぎ♡」

あやめ「最低なことで喜んでる自覚あるのかなあ？」

あやめ「今度はディープキスもしてあげる...舌出して、もっと...あはっ、いいよお♡」

あやめ「んつちゅ...じゅりゅ...じゅるる...じゅぱ...舌、んちゅ...もっと絡ませよお？」

あやめ「ん...じゅるる...ちゅぱ...んつ...もっとお、じゅるる...ちゅぱちゅぱ...れろお...」

かな「うつわ、エツロおい、JCとのお口セックス嬉しいね♡」

かな「変態...小さい女の子の体臭と体液で勃起しちゃう、ロリコンマゾのど変態♡」

あやめ「じゅるる...っぷはあ...あは、お兄ちゃんぼーっとしゃってるう♡」

あやめ「そんなに二人にお口レイプされたの嬉しかった？どマゾ、だもんね♡」

かな「お次は...ここ、脇の下♡」

あやめ「お兄ちゃんのきったない両脇、ペロペロ舐めてあげる...感謝してよね♡」

かな「じゃあ脇をあげて...んつ、くっさ...えほつ、くさすぎ...こんなにきついの？」

あやめ「んつ...ぐつ、くっさ...濃く煮詰まったような、えげつない匂い...」

あやめ「お兄ちゃん、ちゃんと洗ってる？最低の臭いがするよ？」

あやめ「んつれろ…んむう…ほんと、くさすぎい♡それに…まっず♡…れろ、ちゅる…」

かな「んつ、ちゅる…にいにの汚い毛じやま…れろれろ」

かな「んちゅ…臭すぎておかしくなりそう…んつ、ちゅぱ、くつさあ♡」

あやめ「はあむ…れろ…ちゅぱ、あはつ、お兄ちゃんのちんぽ、さらに大きくなつてない？」

かな「やっぱり…JCに体臭バカにされるの好きなんだあ♡」

かな「自分の脇舐めてもらって、くっさ♡ってバカにされて興奮しちゃつた？」

かな「んちゅう…れろお…ほんとキモすぎい♡」

あやめ「今度はあ…そのまま横にずれて、お兄ちゃんのマゾ乳首も…舐めてあげる♡」

かな「さっきからボッキしていじめて～♡って主張してるもんね」

あやめ「最初は先っぽをちろちろ舐めて…れろ…くすっ、ビクってしすぎい♡」

かな「舌先で乳頭を撫でるように…れろれろ、れろ…これだけで雑魚乳首は嬉しそうだね♡」

あやめ「次は、一気に吸い上げるように…ふふ、ガチ勃起してるからやりやすそう」

かな「いくよにいに、今度は乳首全体をいじめてあげる♡」

あやめ「んつ、ちゅぱ…ちくび…かつたあ…ちゅる、じゅるる、じゅるるるる」

かな「んちゅ…ちゅぱ…じゅるる…んふ、コリコリイ…じゅるるる、じゅるるる」

あやめ「じゅる…れろれろ…全体もお…じゅぱ…べろべろ…れろお…ちゅるる」

かな「ちゅるる…どおにいに？JCのダブルマゾ乳首舐め♡んちゅう…」

かな「脳天まで刺激が伝わってえ…んちゅう…じゅる…たまらないでしょ、じゅるる」

あやめ「ちゅるる…じゅる…んー？お兄ちゃんどうしたの？もじもじして」

かな「もしかしてえ…んちゅう…もう雑魚チンポ我慢できない？」

かな「チンポ扱いてびゅるびゅるお射精したくなつちやつた？」

あやめ「ざっこ～♡まだ上半身しか舐めてないよお？」

あやめ「そつかそつか～、お兄ちゃんは本当に仕方ない雑魚マゾだね♡」

あやめ「でもまだあ～め♡もっと楽しませてー？♡」

かな「にいには私たちの何だっけ？」

かな「そう、マゾ奴隸、だったらご主人様の言うこと聞こうね～♡」

かな「じゃあ今度はにいに、足思いつきり広げて？」

かな「そぞう…やあん、変態すぎ～♡」

あやめ「ふつ、あははっ、恥ずかしい格好～♡」

かな「はいはい、どマゾ変態ポーズのできあがり～♡」

あやめ「透明なお汁が垂れてる雑魚おちんぽとお…」

かな「濃厚などろどろザーメンを作ってるキンタマ…」

あやめ「ヒクヒクしたマゾのお尻の穴まで丸見え～♡」

あやめ「さっきは上半身だったから、今度は下半身…」

あやめ「ちんぽの周り、舐めしゃぶってあげる♡」

かな「にひひっ、それじゃいくよ～」

あやめ「スンスン…うわ…くっさ♡マゾのオス臭がむわあってきて…変態な匂い♡」

かな「すんすん…はあ、くっさあ♡ちんぽの周りだけでもエグい匂いするう…♡」

あやめ「まだおちんちんの先はおあずけ、すぐにイっちゃいそうだし♡」

あやめ「まずはこのずっしりとした、ぼてぼてのキンタマから♡」

あやめ「小さなお手でスリスリするだけで気持ちいでしょお？」

かな「ズボンの中で蒸れた雑魚マゾのキンタマ、舐めてあげる♡」

かな「おっく膨らんで、この中で激臭のおせーし作られてるんだねえ」

かな「それじゃ…」

あやめ・かな「いただきま～す♡」

あやめ「んつ♡むぐっ♡蒸れて…気持ち悪い…んちゅ…♡はむっくさすぎい♡」

あやめ「この中に、んつ♡濃厚なマゾミルク…んつ、じゅるるる♡」

あやめ「はあ…マゾの証♡いっぱいあるんだあ♡…じゅるる」

かな「んつ♡むえ…えほつ、ぐ、くっさ♡サイツテーの匂い…」

かな「にいに汚いたまたま、舐めてあげる…んつ、くっさあ♡」

かな「んちゅ…れろ…玉裏とか…臭くて香ばしくて…ちゅぱ…最低の味い…♡」

あやめ「ぷはっ…舌でコロコロ転がすとおもしろ～い♡」

あやめ「お兄ちゃんのたまたま…パンツパンだね♡」

かな「にひひっ、タマ舐めると、にいにのお尻の穴ヒクヒクして…変態すぎい♡」

かな「もう我慢できなくらいマゾ汁も溢れて、ガッチガチ♡」

あやめ「そろそろお兄ちゃんお待ちかねの…」

あやめ「その雑魚チンポ、舐めてあげよつかあ？」

かな「チンポだけ舐められずに焦らされて…もう、出したいんじょ？」

あやめ「とろつとろのお口の中で、じゅぼじゅぼしたいよねえ？♡」

あやめ「なら、ちゃんとお願いしようね…どマゾらしく足を開いたその格好で♡」

かな「お願いします、僕の臭くて汚いおちんぽフェラしてください♡」

かな「JCのお口マンコの中に、敗北ザーメンびゅるびゅる射精させてください♡」

かな「さんはい♡」

あやめ「ん～？言わないんだったらやめよっかなあ♡」

あやめ「もう十分無様で情けない姿見れたし」

あやめ「…ん、なあに？♡」

あやめ「ちゃんと大きな声で言って、ね？♡」

かな「言え、マゾ堕ちしろ、この変態♡」

かな「あははっ、その格好で…ふつ、くすすっ、にいに、サイツテー♡」

あやめ「ふつ、あははっ、お兄ちゃん変態すぎい♡」

あやめ「敗北マゾ堕ち宣言、スマホで撮っておけば良かった♡」

あやめ「いいよお、それじゃあお望み通りフェラ、してあげる♡」
かな「良かったねえ、JC二人のダブルフェラ、楽しんでね♡」

あやめ「んっ、お兄ちゃんの雑魚ちんぽの皮…すでに濃厚なオス臭…」
あやめ「これ…むきむきしたらやばそお♡」

かな「おちんぽの匂いエグすぎて、私も発情しちゃうかもお♡」

あやめ「いくよ…二人で、ゆっくり…むい、て…んぐっ、えほっ…匂い一気にきたあ♡」
かな「鼻の奥にくるような…臭くて…クセになる下品な匂い…やばあ…♡」
あやめ「すんすん…ぐつ、うえ…本当にくさすぎ…オス臭い最低のちんぽ…」

かな「にひひっ、もっとめくると、濃いチーズみたいな、チ・ン・カ・ス♡」
かな「いっぱい溜め込んでるんじゃない？ サイツテー♡」
あやめ「この皮かぶってる部分を全部下げる…んん～～っ、くつさあ♡」
あやめ「やっぱり濃いチンカスがたくさん♡」

かな「うっわ…くつさあ♡…すんすん…すん…濃厚なマゾオスの匂いがするう…」
あやめ「コテコテに発酵したチーズみたいな、きっとなくて最低な匂い♡」

あやめ「このチンカスも、ペろペろしゃぶってあげる♡」
かな「にいにのサイツテーなチンカス、食べさせて♡」

あやめ「ん、んちゅう…うへ、まっずう♡…ちゅる…ちゅぱちゅぱ」
あやめ「じゅるる…亀頭の先走ったカウパーをなめとつてえ…じゅる…」
あやめ「この…チンカス…ちゅる…ちゅぱ…うつ…くつさあ♡」

かな「んちゅ…ちゅぱ…くさあ♡にいにの、サイツテーチンポ、やばすぎい♡」
かな「んつ♡チンカスまっず、ひどい匂い…えほっ…んつ♡んふつ…まだ飲み込まずにい…」
かな「飲み込むところお…見せてあげる♡」

かな「ほら、にいに…んべえ♡」

あやめ「お兄ちゃん、見て…んべえ♡」

あやめ「これを…お口でくちゅくちゅして…ちゅ…じゅるる…」

あやめ「味わってから…んつうえ…んつ♡こくん♡…はあ…まっずう♡」

かな「舌で唾液と…ちゅる…混せてえ…んつ♡」

かな「くちゅくちゅって…んっ…いくよお…んつ♡こくん♡…はあ、食べたよお♡」

かな「にひひつ、にいに嬉しそう…そんなにチンカス食べてほしかったんだ♡」

あやめ「ほんと変態、チンカス食べさせてオチンポさらに勃起させて…」

あやめ「もっと舐めたげる…はあ…じゅるう…ふふつ、くつさ♡…ちゅる」

かな「私はあやめっちが舐めてるところ、耳元で実況してあげる～♡」

かな「妹メスガキのフェラ、嬉しいね～にいに♡」

かな「ほら、よく見てあげて…にいにのために雑魚チンポ、舐めてるところ♡」

あやめ「裏筋も舌でなぞってえ…んちゅう…また、さきっぽお…ちゅぱあ…」

あやめ「んつ♡んふー♡このまま、おちんぽ奥まで咥えてあげる…じゅる…じゅるる」

かな「あんなおつきいの咥えてすごお♡」

かな「ねえにいに、今どんな気持ち？」

かな「足を開いて無様に女の子におねだりして…臭いを馬鹿にされながらのフェラ♡」

かな「にひひつ、嬉しいんだよねえ♡」

かな「むしろもっと堕ちたい、堕とされたい？…ばあ～か♡」

あやめ「ん…じゅるつ…マゾ、ど変態…♡んつ♡じゅるる…ちゅぱつ」

あやめ「ふふつ、雑魚ちんぽもギンギンで射精の準備万端…」

あやめ「そろそろお兄ちゃんのこれ、しゃせーさせてあげる？」

かな「とろっとろに蕩けたお口まんこにびゅくびゅく出したいよね？♡」

かな「孕ませるつもりで勢いよく敗北おしゃせーしちゃお？♡」

かな「寸前までちんぽの根元占めて我慢してえ…」

かな「さいっこうに気持ちいいど変態射精、きめちゃおうね♡」

あやめ「いくよお兄ちゃん、私の、本気フェラ♡はむつ...ちゅるる」

あやめ「じゅる...じゅぼ...んつ♡雑魚チンポっ...はむう♡おつき、んつ♡」

かな「マゾちんぽが、じゅるじゅる、ちゅぱちゅぱ...」

かな「JCの女の子が見せちゃいけない...ど下品顔でチンポ咥え込んでるよお♡」

かな「にいにのせいだよ?...あんな濃厚なチキンカス食べたらあ...」

かな「クサくてエロくて...媚薬みたいに体がスケベになっちゃう♡」

あやめ「んつ♡んふー♡じゅぼつ♡雑魚チンポお...んつちょっと、美味しいかも♡」

あやめ「お兄ちゃん♡んつはやくう...私にどろどろのザーメンぶちまけてえ♡」

あやめ「んつ♡じゅる♡このお口とお、喉奥が目印、だよお♡んつ、じゅるるるる♡」

かな「見てえ、にいに♡本気フェラのメス顔♡」

かな「妹がスケベな顔で、ど下品フェラで、チンポ咥えてる姿はどう?」

かな「興奮...するでしょ? この変態♡」

あやめ「んじゅるる....じゅるるる...おにいひやんのちんぽ...もうやばいんじゃない?」

あやめ「でもお...じゅる...んつ...ちゅぱ...ゆるめてあげない...じゅるる...」

かな「ほら耐えろマゾ、変態...変態...」

かな「いつもティッシュに寂しくムダ撃ちザーメン出してるんだから...」

かな「こういう時くらい頑張れるところ見せようね♡」

あやめ「んつ♡んつ♡じゅるるる...お兄ちゃんのちんぽ...おいひいよお?...じゅるる」

あやめ「このままっ...じゅる...こってりマゾミルク...じゅるる...ごくごくさせてえ♡」

かな「ほら、がんばれがんばれ～♡」

かな「んー? もう出そう? 本当にダメ? ざっこお♡」

かな「限界そудаし、最後は情けなくびゅるびゅるしようね♡」

あやめ「じゅるる...あはっ、大きくびくった、もう限界? 出ちゃいそう?」

あやめ「いいよ...じゅるる...私のお口マンコにいっぱいいちょーだい？」
あやめ「んつ♡じゅるる...ちゅう...じゅるるる、じゅぽじゅぼ♡じゅぼ♡」

かな「ほらく、マゾせーしのぼってきちゃう...」
かな「全身舐められて感度高まって...たくさん作られたおせーし、のぼってきちゃう♡」
かな「出るときはあ、ちゃんと、カナ様アヤメ様マゾ汁でます～♡って叫んでね♡」
かな「ほら、じゅぽじゅぼじゅぼじゅぼ♡」
かな「メスガキのお口マンコを汚いざーめん汚すまでもう少しだよ～♡」
かな「無様に敗北マゾ射精しちゃおうね♡」

あやめ「んつじゅぼつ♡らひてつ私のお口にこってりミルク♡」
あやめ「いっぱいいちょーらい♡お兄ちゃんのマゾせーし飲ませてえ♡」

かな「いけいけいけ、惨めにぴゅっぴゅしゃお？♡」
かな「アヘ顔決めて気持ちよくなっちゃお？」
かな「ぴゅっぴゅして、ぴゅっぴゅして♡」
かな「ほら、イケ♡」

あやめ「ふぐっ!!んんつ～～～♡...んあつ♡...はあ...ちゅる...じゅるる...」
あやめ「ビケンビケンして...あつ♡まだ、出てる...ちゅる...じゅるる...」

かな「びゅくびゅく～びゅるる...お口マンコに、中出しお射精♡」
かな「びゅるびゅる～、ぴゅっぴゅつ、ちゃんと気持ちよくなれたね～♡」

あやめ「ほんといっぱい...最後にお兄ちゃんの好きなあれ、やったげる」
あやめ「お兄ちゃんの大好きな...ザーメンごっくん♡」

かな「あ、ねえねえあやめっち、それ、私にもちょうどいい♡」
かな「変態にいには、こういうのも好きそうだし♡」

あやめ「んつ、じゃあ...顔、近づけて...んつ♡」

かな「こう...？ん、んつ♡」

あやめ「ちゅ…ちゅる…じゅるる…んはあ…ちゅる…ちゅぱあ♡」
かな「ちゅ…ちゅる…じゅるる…んはあ…ちゅる…ちゅぱあ♡」

あやめ「んふふっ、これでザーメン半分こ、だね♡」
かな「んつ♡はあ…口移しって、ドキドキしちゃった…♡」
かな「それじゃあにいに…両耳に集中♡」

かな「んつ、ちゅる…じゅるる…はあ…濃厚…唾液と混ざって、んつ♡エロい味い♡」
あやめ「んちゅ…じゅる…お兄ちゃんの、我慢してたから…じゅるる…」
あやめ「ゼリーみたいに…ちゅつ…濃ゆくて…んつ♡くっさあ♡ちゅるる♡」

かな「それじゃあ、いくよ…」
あやめ「それじゃあ、いくね…」

あやめ・かな「んつ…ぐちゅ、ちゅる…ごくんつ…んつ、はあ…」

かな「にひひつ、ご馳走様、にいに」
あやめ「くすっ、美味しかったよお兄ちゃん♡」